

※本資料は基本設計段階のものであり、実施設計段階において変更することがございますので、予めご了承ください。

周辺の自然環境と融和し、やさしさとやすらぎに包まれた斎場を目指します。

■ 基本方針

①効率的で可能な限りコンパクトな施設計画

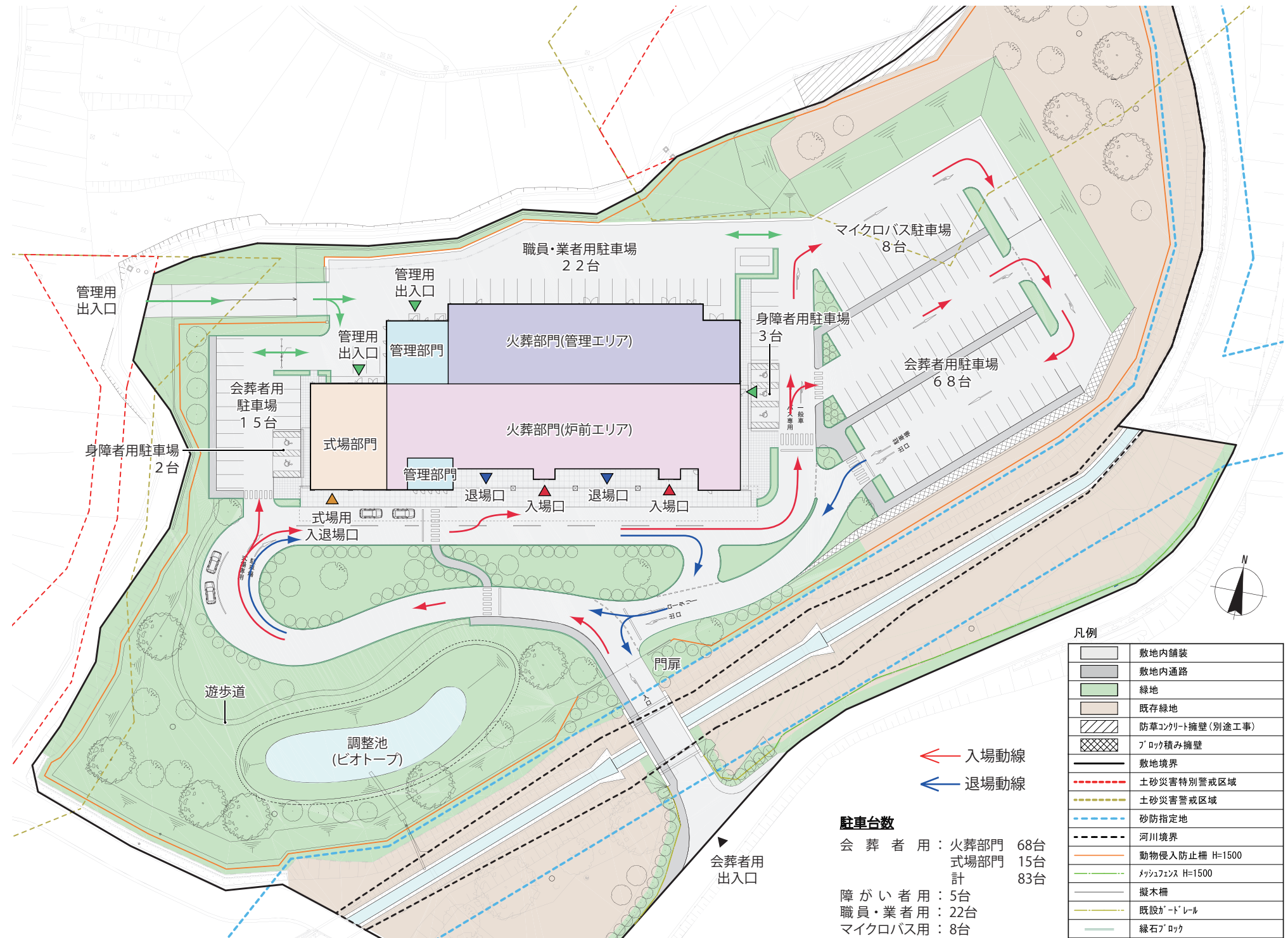
・山に囲まれた敷地を最大限活用し、平面駐車場、管理用通路、緑地を確保したうえで、かつ、現況の地形との適合性に配慮した合理的な配置計画とします。

②自然豊かな山あいの景観と調和した斎場

・建物の高さを最小限に抑え、敷地奥に高さのある火葬炉機械部を配置することで、圧迫感を軽減させます。  
 ・平野を見渡せる南側に建物の正面側を向けることで、周囲の山々や、ふるさとの眺望を視界に取り入れる配置とします。

③ご遺族・会葬者の心情に寄り添うホスピタリティ溢れる斎場

・会葬者と管理用動線の明確な区分や、葬送の流れに配慮した動線計画により、厳粛で落ち着いた雰囲気のもと、故人とお別れに集中できる空間を提供します。



凡例

[Symbol]	敷地内舗装
[Symbol]	敷地内通路
[Symbol]	緑地
[Symbol]	既存緑地
[Symbol]	防草コンクリート擁壁(別途工事)
[Symbol]	ブロック積み擁壁
[Symbol]	敷地境界
[Symbol]	土砂災害特別警戒区域
[Symbol]	土砂災害警戒区域
[Symbol]	砂防指定地
[Symbol]	河川境界
[Symbol]	動物侵入防止柵 H=1500
[Symbol]	メッシュフェンス H=1500
[Symbol]	擬木柵
[Symbol]	既設ガードレール
[Symbol]	緑石ブロック

入場動線  
退場動線

駐車台数  
 会葬者用：火葬部門 68台  
           式場部門 15台  
           計 83台  
 障がい者用：5台  
 職員・業者用：22台  
 マイクロバス用：8台

■ 建物概要

所在地：栃木市岩舟町三谷地内	建築面積：約2,983 m <sup>2</sup>
敷地面積：約24,800 m <sup>2</sup>	延床面積：約4,330 m <sup>2</sup>
主要用途：火葬場	火葬炉：8炉
構造・階数：鉄筋コンクリート造 地上2階建	告別室：3室
	収骨室：3室
	待合室：8室
	式場：1室

■ 配置計画

・会葬者用駐車場は、火葬部門と式場部門に分散して配置し、各部門の出入口に最短の距離となるよう配慮しています。  
 ・敷地内の車路をゆるやかなカーブ形状とすることで車両の速度を抑制し敷地内の安全性に配慮しています。  
 ・建物側からの眺望に配慮し、調整池の周辺は多様な植栽や遊歩道を設けたピオトープの庭として整備するとともに、駐車場は建物正面側を避けて配置します。

・会葬者の入場動線となるアプローチ側から目につきにくいように、反対側の山側に火葬炉室を配置することで、ボリューム感を出来るだけ和らげる配置とします。  
 ・火葬部門と式場部門の双方の利便性に配慮し、段差がなく移動距離が短くなるよう駐車場や多目的トイレ等を分散配置し、車いす使用者や高齢者を含むすべての利用者にやさしい施設とします。

配置図

※本資料は基本設計段階のものであり、実施設計段階において変更することがございますので、予めご了承ください。

プライバシーが保たれた、ご遺族の思いに寄り添う別れの場を創出します。

■ 平面計画 ー 利便性に配慮した各室の配置計画 ー

① 火葬部門

- ・ エントランスホールは、棺運搬車の軌道を確保しつつ、奥行を最小限に抑え、会葬者が滞留することなくスムーズに告別室へ入室できるコンパクトなつらえとしています。
- ・ 告別室は3室設置し、ゆったりとした広さを確保しつつ収骨室を併設する構成としています。
- ・ 各々の入退場動線に対し、2箇所の垂直動線により会葬者同士の動線交錯をなくします。

厳粛な空間



黒漆喰塗(風除室内) 照明+自然光+硬質材  
エントランスの空間イメージ

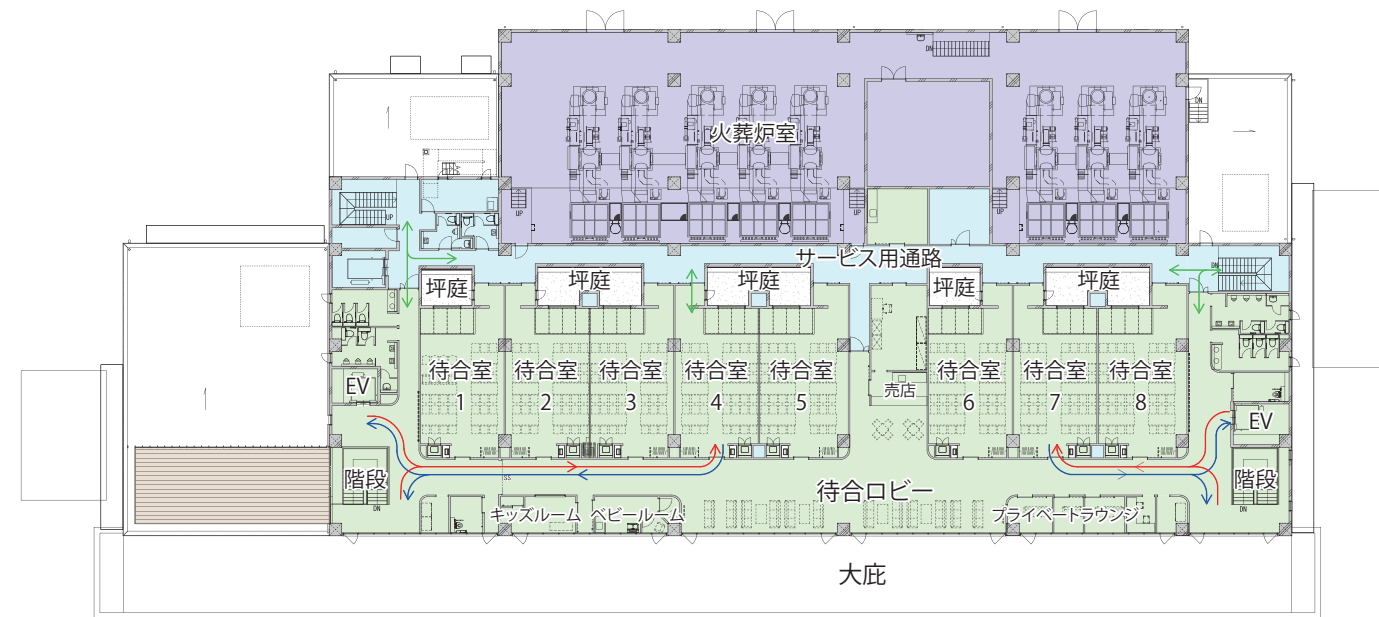
② 待合部門

- ・ 待合室は椅子・テーブルの配置により 42 人収容可能な 8 室を設け、待合室に対する弁当や飲み物等のサービスおよび、使用後の清掃や準備等のための会葬者動線と完全に分離したサービス用通路を設けます。
- ・ 中央部に設置された待合ロビーからは、外部の山々や外構の緑を眺望できる開放的な空間とし、ご遺族の悲しみや儀式の緊張感を和らげます。

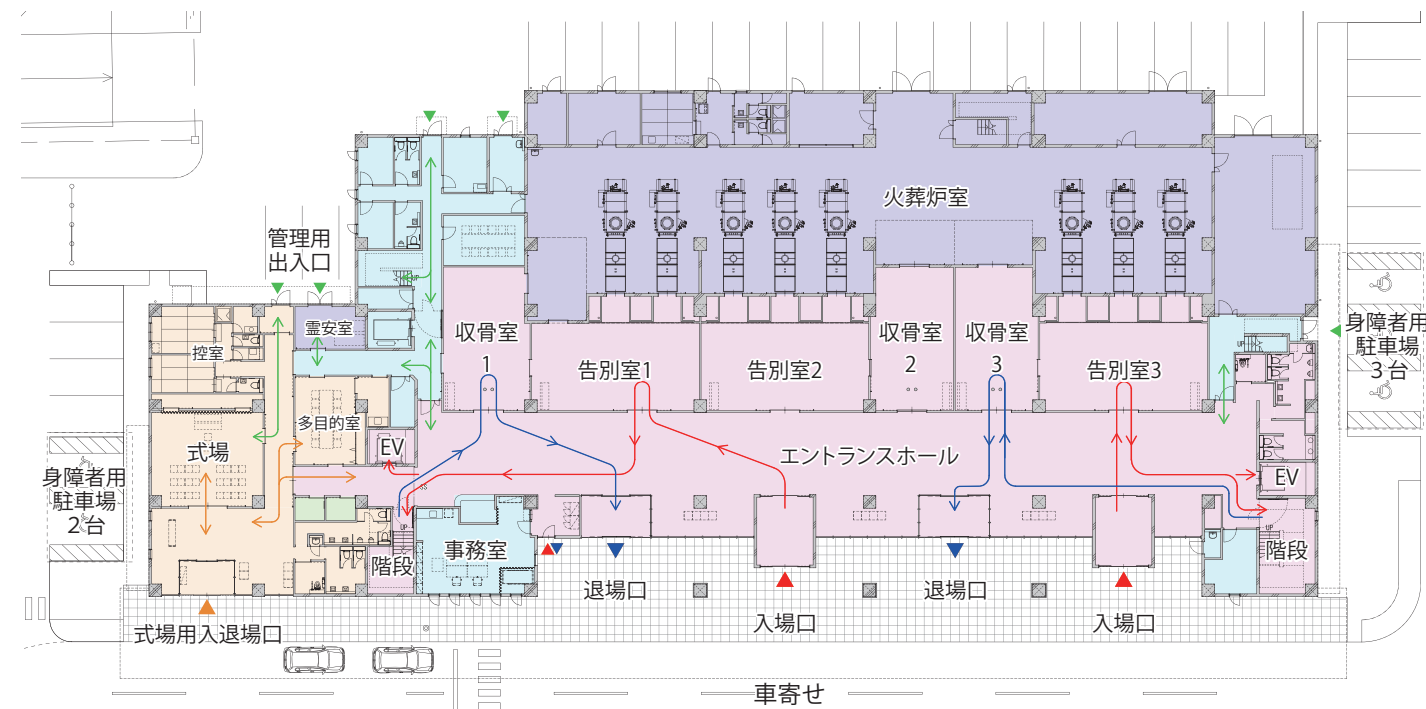
明るく和やかな空間



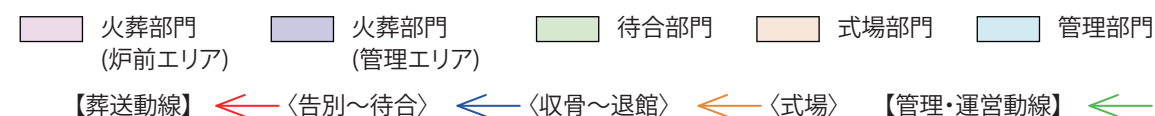
自然光+漆喰系塗装 自然光+緑化  
待合部門の空間イメージ



2階平面図



1階平面図



③ 式場部門

- ・ 式場部門の出入口は火葬部門とは別に設け、車寄せから雨に当たらずに直接出入可能な配置としています。
- ・ 式場は 24 席まで確保できる広さとし、葬儀形態に柔軟に対応できるように、祭壇や焼香台等の配置をアレンジし、席数の増減にも対応できるつらえとしています。

厳粛でやわらかな空間



みかも材 漆喰系塗装  
式場部門の空間イメージ

④ 管理部門

- ・ 運営管理の中心となる事務室を入退場側に設置し、車寄せおよびアプローチ側を見渡せる窓を設けることで、会葬者や車両の入退場を視認し効果的に管理・運営できる計画としています。

⑤ 車寄せ周り

- ・ 奥行き 6mの大庇を車寄せ全面に掛けることで、車寄せで降車した会葬者が雨に当たらず安全に入場できるエントランスとします。
- ・ 車寄せに対するエントランスホールには、入場口と退場口を交互に2箇所ずつ設置することで、複数の葬家が集中した場合でも交錯せずスムーズな会葬が可能となります。



外観イメージパース